

## 【6学年まとめ】

### 1. 学年の取組

本学級の児童は、あいさつや返事を元気にすることができ、明るい前向きな生活をしている児童が多い。6年生になり、4月から最高学年として、学校行事や縦割り班活動、委員会、クラブ活動などを行ってきた。学校のリーダーとしての自覚を持ち、役割を果たそうと誠実に真面目な態度で意欲的に取り組んでいる。しかし、時としてその場に応じた臨機応変な挨拶やお辞儀など礼儀を欠いてしまう児童がいる。

誠実に行動するためには、自己の過ちを認め、改めていく素直さとともに、何事に対しても真面目に真心を込めて、明るく楽しい生活を心掛けようとする姿勢を持つことが大切である。過ちや失敗は誰にも起こり得ることである。その時にうそを言ったり、ごまかしをしたりすることがある。このことによって、他者の信頼を失うばかりか自分自身の中に後悔や自責の念、強い良心の呵責などが生じる。それらを乗り越えようとするのが正直な心であり、自分自身に対する真面目さであり、伸び伸びと過ごそうとする心のすがすがしい明るさでもある。このような誠実な生き方を大切にすることを育てていくことが重要であると考えた。

本教材は、あまり売れない手品師が大劇場のステージに立てるチャンスを捨て、男の子と交わした約束を守るという内容の話である。本時の導入場面で学習問題「誠実に行動するとはどういうことなのだろう。」と問いかけ、ねらいとする道徳的価値への意識づけをする。本教材を活用し、児童一人一人が手品師の立場になって考えることで、多面的・多角的な意見を出し合い、話し合いで手品師の心の葛藤をしっかりと見つめ、自己を振り返り「誠実に行動する」ということをじっくり考えさせた。

### 2. 授業実践について

主題 明るく生きる 内容項目【A 正直、誠実】

本時のねらい 人は時として判断に迷うことがあるが、その心の内やその後の行動を考え、誠実という道徳的価値の意義を話し合い、理解する活動を通して、どのような状況にあっても、常に誠実に行動し、明るい生活をしようとする心情を育てる。

教材名 手品師 (出典「新しい道徳6」東京書籍)

授業者 6年1組 有泉 美菜



#### 【授業の流れ】

- ①「誠実」について考える。(アンケート結果)
- ②友人から大劇場の舞台に出られるという電話があり、手品師はどうしたのかを話し合う。(葛藤場面)
- ③なぜ、手品師は男の子との約束を選んだのか、話し合う。(グループ→学級)
- ④手品師は、どんな生き方を大切にしたいのか考える。
- ⑤誠実な生き方について、自分の意見や感想をワークシートに書いて、話し合う。
- ⑥教師の説話(夏目漱石の言葉)を聞く。

特に、②③の二つの場面を通して、手品師の今までの言動から、手品師が大切にしたいことを考えることでねらいに迫った。また、手品師の大切にしたいことが、本時の問題の答えになることをおさえ、ねらいとする道徳的価値への理解を図ることができた。



児童の振り返り(ワークシート)より

◎ 誠実な生き方の真実や感想を書きましょう。

私は、ときどき、自分の心を守  
るために、うそをついてしま  
うことがあります。自分がこそを  
つくことによつて、相手はどの  
ように思うのかをいさぐえ  
も考えずにうそをついてしま  
います。手品師のようには、誠  
実で、自分も相手にも素直  
な人になりたいと思いました。

◎ 誠実な生き方の真実や感想を書きましょう。

誠実という意味は最初あまりよく分  
らなかつたけれどこのお話を聞いて  
さう素直に正しくしようと思は  
れました。手品師は、たうと  
夢に目がくらむだろうけれど、手品師  
さんは自分に正しく誠実にしたわけ  
が、うそとそれなりのことは返って  
くるところに、うそより、誠実であると  
思いました。自分も素直に誠実にし  
ようと思いました。

◎ 誠実な生き方の真実や感想を書きましょう。

手品師は、自分の愛する男の子の  
笑顔をえらんだ、これも誠実である  
ことがわかった。自分も誠実である  
ためになにかがやれて、なにかをえな  
くても、自分が相手にうれしくな  
って、うそは、自分もうれしくなれると  
思いました。

◎ 誠実な生き方の真実や感想を書きましょう。

誠実に生きるといふのは、この  
「手品師」を聞いて素直に生き  
るといふことだと思ひました。  
なぜなら手品師は、自分の素  
直な気持ちで、だから、男の  
子の約束を守ったと思ひ、  
だからです。そして、自分に  
優しく、そして、喜びの生  
きたから。

◎ 誠実な生き方の真実や感想を書きましょう。

自分に素直になれたことが、実は  
どんなに悲しいんだろうと思ひまし  
た。た一度きりの人生、きこいつか  
終わりがくるなら、やりたいこと  
たくさんやて約束を守り、後悔を  
ように生きたいです。もう少し  
こともあつたけど、もう少し、手  
したほうが、楽しく生きられるの  
かなと思ひました。

### 3. 成果と課題

- 「誠実」という意味がよく分からない児童も手品師の言動によって、自分と重ねて考え、道徳的価値への理解を深めることができた。
- 問題解決学習を取り入れたことで、価値や話し合うテーマがはっきりと明確になった。何を学習しているのかが、わかりやすかった。
- 少人数での話し合いが有効であった。取り入れることで、学級での話し合いの際に、挙手をする児童が多かった。
- ▼最初にアンケートを提示したことや問題解決学習でテーマを明確にしたことで、手品師の葛藤場面での意見が偏ってしまった。「男の子との約束を守る」という児童が多くなってしまった。
- ▼切り返しの発問や児童同士の話し合いをさらに深めるための手段を取り入れたい。意見を言って終わってしまっている場面があった。